

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

9 2024
月号

vol.698

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

第30回 福岡県中小企業経営者フォーラム

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部
Facebook

21世紀型
自立型
企業づくり

お客様から、地域から、
未来から求められるために
～コツコツと、そしてちょっぴり背伸びして～

あさの あきひろ

浅野 明裕 氏 (有限会社 アサノ自動車)



ASA
MOTOR SYSTEMS



[デザインQR]

問 今こそ、問う! 問

～新時代を生き抜く経営とは～

急激な世の中の変化により、私たちの暮らしも、中小企業を取り巻く環境も、益々厳しさを増しています。経営者と社員が一体となって、この厳しい環境に立ち向かい、地域と共に存続発展をしなければなりません。

2024年度の運動方針である【変化を捉え、新たな飛躍へ!】に向かう為に、学びの集大成でもある「経営者フォーラム」は見逃し厳禁です!

今回のテーマ【今こそ、問う! ～新時代を生き抜く経営とは～】について、経営者フォーラム実行委員会の中原亜希子実行委員長((株)プロデュース/ひびき支部 写真中央)、森 仁志副委員長(和新工業(株)/東支部 写真左)、入江恵美副委員長((株)オー・イー企画/福友愛支部 写真右)にお話をお聞きました。

聞き手: 広報部 新井理恵子(ちんどん鈴乃家/かすや支部)・南 史聡(西支部) 写真: 広報部



取材の様子

新しい経営者フォーラムを目指す!

コロナ禍を経て、社会や生活様式、外部環境の変化は著しく、経営者フォーラムもそれに対応すべく変化が必要と考えていた中原実行委員長。

各支部より集まった経営者フォーラム実行委員の今回の顔ぶれは未経験者が多いということだ。

「これはラッキー!」と捉えた中原実行委員長は、「どんな経営者フォーラムなら足を運びたい?」と経営者フォーラムへの固定観念の無い実行委員メンバーに質問することから始まり、テーマ決めまで、沢山の意見交換をし、その結果、経営スタイル、経営者自身、業界自身を「問い直す時期である」ことが浮き彫りにされました。そこから出て来た言葉が、今回のテーマとなりました。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

次期支部長からの紹介記事 依頼、大変光栄です(笑) アサノ自動車の浅野さんは現在久留米支部副支部長として活躍されております。その人柄は表情からも察することができると思いますが、大変温厚で、常に相手の立場にたって、物事を考えることができる、今では久留米支部になくてはならない存在です。初めて浅野さんとお会いしたのは13年前だと思いますが、

私が浅野さんを紹介します!



株式会社ベストプランニング 代表取締役 栗原 ともひろ 栗原 朋宏(久留米支部)

今月の表紙



有限会社アサノ自動車 専務取締役 浅野 明裕氏(久留米支部)

詳しくは本誌7ページへ

当時は私も含めた30代の会員が非常に少なく、先輩会員の皆さんに圧倒されていたことをよく覚えております。そんな中彼も私も、若手勉強会、ブロック会や支部例会など、毎月多くの会に参加し、共に学び、共に酒を交わし、そして共にタクシードで一緒に帰るといふ、本当に多くの時間を過ごし、今では浅野さんの存在は私の同友会活動の支えになっています。年齢こそ年下ではありますが、尊敬できるそんな浅野さんは、冒頭に書いた通り、次の支部長候補です。これからの精神力の強さと、周囲への気遣いと配慮ができる彼にこそ、久留米支部を引っ張ってほしいと思います。ご活躍に期待します。

撮影後記



アサノ自動車の浅野明裕さんをお訪ねいたしました。昭和46年設立された会社で、自動車販売・板金塗装・車検整備を手掛ける地域に根ざした会社です。

経営理念 『求められるために』
行動理念 「求められるために」日々行動することで「自分の未来」を豊かなものにする。

ラグビーを愛する素敵な浅野さんです。素敵な写真が撮れました。感謝申し上げます。

撮影・文/株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

“デザインQR”とは?

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。 ※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



**新たな課題を
自分事として捉える!**

短期間に起きた様々な変化。自社に關係のある部分だけをやっているでは生き残れない時代になりました。
社会や地域、他社で起きている新たな課題から、新時代を生き抜く経営に繋がる学びを「自分事」として得る事ができるような経営者フォーラムを目指します。

新しい試みの分科会!

個人経営者が増えている昨今、経営の在り方も新時代を迎えています。
同友会の中でも増えている個人経営者会員が、今後の経営の在り方について学べる分科会をつくりました。

新しい出会いも!

参加者同士の交流をより深める場として交流会を開催します。
他支部の方やゲストの方との交流で新しい出会いがあります。
各分科会の報告もありますので、参加できなかった分科会の内容を知る事もできます。

新井 今回取材を担当し経営者フォーラムが益々楽しみになり、交流会では張り切ってお役目果たしたいと思えます。

新時代のちんどん屋、博多の福娘、ちんどん鈴乃家も登場し、お祭り気分盛り上げます!

質の高い学びの場を福岡に!と1984年に始まり、今年で第30回を迎える経営者フォーラム。
経営者同士が切磋琢磨する場にする為にも、より多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



中原実行委員長

お三方より、参加を検討中の会員の方へメッセージをいただきました!

中原 「経営者フォーラム」と聞いて女性経営者の中には萎縮してしまう方も。そんな方こそ、新時代の経営者フォーラムに足を運んで欲しいです!
入会したての会員の方や若い会員の方も、共に学びを深め、経営者フォーラムを盛り上げていきましょう。



森副委員長

森 「経営者フォーラム参加」の優先順位を上げ、自分事として捉えた時、そこに沢山の学びがある事に気付くと思います。

まだ二度も参加した事が無い方は、今回の新しい経営者フォーラムがきっと良いきっかけになると思います。



入江副委員長

入江 全国的な交流の場に参加したくても難しい会員さんもいらっしゃいます。そんな方にとっても、経営者フォーラムの参加が全国レベルの体験報告を聞ける貴重な機会となります。
飛びきりスゴイ話を聞ける今回の基調講演もオススメです!

経営者であるあなたに...今こそ、問う!

基調講演

**あなたの会社は
今のままでいいですか?**
〜変わりたいから同友会に入会したんだろ〜



宇佐見 孝氏
宇佐見合板(株)
代表取締役
愛知同友会

基調講演をされる宇佐見孝氏は愛知同友会にて広報部長、報道部長、副代表理事、中同協にて広報委員長を務められ、その経験から「同友会で学ぶと企業と経営者は変わることができる。」と話されます。
経営者は本気で学ばないと新時代を生き残ることはできません。企業と経営者は変わらなければいけません。同友会で学ぶことの大事さと、同友会で学んだ情報を価値に変えることができるか我々に問いかけられます。
同友会で学び自社の業績が上がるように努力しているか、同友会「ここ」になっているか、本気で学んでいるか、経営者として成長しているか考えるきっかけにしましょう。

第1分科会

**新時代を生き抜く
経営者の覚悟**
〜同友会らしい企業づくりで未来を切り拓く〜



加藤 明彦氏
エイベックス(株)
代表取締役会長
愛知同友会

第1分科会の報告者は中同協副会長、及び、中同協の、人を生かす経営推進協議会代表の加藤明彦氏です。本分科会では同友会らしい企業づくりがどのように未来を切り拓いていくのか、市場創造や人材育成、さらには自主民主連帯の精神などを切り口に学びあいます。
私たちの経営環境は新時代に突入し、過去の延長線上にいただけでもしなければ、今の仕事は必ず無くなると言われていきます。その中でも私たち経営者は、D&I(多様性と包摂性)やSDGsなど様々な視点で現状認識を行い、先を見る経営、未来が見える経営をしていく責任があります。
加藤氏は「こんな時代だからこそ、人間尊重の経営が差別化になる」と仰います。いくつもの激変の時代を乗り越え、会社を発展させてきた加藤氏の経営体験報告から、人を生かす経営の本質を共に学びましょう。

第2分科会

**減災意識が新たな
地域活性化の未来を創る**



富山 博史氏
大牟田ピンテージのまち(株)
(株)カンカングループ他1社
代表取締役
大牟田支部

皆さんはBCP(事業継続計画)を作成していますか?緊急時に自社を守ることはもちろん地域との連携は欠かせません。大牟田ピンテージのまち株式会社の富山氏は、令和2年7月に大牟田市を襲った豪雨災害を経験し、復興に向けて地域と共に活動されました。元々大牟田市が「消滅可能性都市」にエントリーされているということで、そんな未来を子どもたちに引き継ぎたくないという思いから、自社の不動産賃貸業、飲食業、DIYリノベーションによるまちづくり業で地域と密接な繋がりを作って来られています。今回の災害を受け、さらに防災・減災の意識を地域で広め、1人ひとりが地域を守る一員となるべくBCP作成を含め様々な仕掛けを考え実行されています。
企業がその地域で担う役割、持続可能な企業とは?都市圏、地方関係なく企業として大切なテーマだと感じました。そういったことを学べる第2分科会です。



座長 濱田 満広氏
(株)濱田設備
代表取締役 (有明支部)



座長 兼 朋記氏
(株)ルックルック
代表取締役 (南支部)
座長 地 隆幸氏
郵便局
代表者 (玄海支部)



座長 桑原 由美子氏
(NPO法人 発達障がい者
就労支援ゆあしっ
理事長 (西支部)
座長 隈 教暁氏
あかつき社労士事務所
所長 (青年支部)

第3分科会

時代に対応し、変化を創れる
「価格決定権」をもった
企業づくりに取り組もう



松井 清充 氏
中小企業家同友会
全国協議会 参与

経営者フォーラム第3分科会は「時代に対応し、変化を創れる価格決定権をもった企業づくりに取り組もう」をテーマに毎年開催し今年で10年目となる情勢勉強会の内容となります。報告者の中同協参加の松井氏は「なによりもまず同友会の中で一番大事なのは情勢認識を一致させること」として、同友会の歴史や国際情勢、国内情勢にふれながら、長期の運動の戦略を持つことの大切さを強調。また、よい会社をつくるのが中小企業憲章や中小企業振興基本条例の運動でもあり、自立型企業を創出する経営指針文化運動の意義だと言われております。今回も今まで多くの中小企業を見てきた松井氏から経営実践のヒントを学びます。



座長 井上 明氏
富士食品(株)
代表取締役社長 (東支部)



室長 中川 基広氏
株式会社プラン
代表取締役 (のおがた支部)

第4分科会

10年ビジョンを2年で
達成できた秘訣!!
新しい時代に必要とされる能力とは



太田 恵理子 氏
(株)ハビリテ
代表取締役
徳島同友会

太田氏は水頭症の我が子を預かってくれる保育園が見つからず、「それなら自分で保育園をつくろう」と会社設立を決意します。そこから色んな失敗や葛藤がありながらも、10年ビジョンとして掲げていた障害児総合支援施設の開所をわずか2年で成し遂げることができました。「口に出したことは必ず叶う」と信じて進んできた太田氏。経営者自身が強みを発揮し、可能性を爆発させてビジョンを実現していく過程をご報告いただきます。



座長 阿部 弘美氏
(株)ChouChou
取締役 (南支部)



室長 黒木 健太郎氏
(株)くりぼー
代表取締役
(福友愛支部)

第5分科会

小さな一歩が
大きな未来を創る



梶原 多真季 氏
(株)Link Solar
代表取締役
西支部

雇用しないと事業を維持・拡大出来ない? そんな今こそ既存の概念から脱却するとき! 個人だからこそ出来る経営がそこにある! この度第5分科会では経営者フォーラムで初めて個人事業者に向けた分科会を行うことになりました。今まではどうしても労使等といった組織のある企業に対する報告が一般的でした。ただ現状としまして福岡同友会の会員多くは全国の同友会会員の中に個人事業者は決して少なくありません。そしてリーマンショックや自然災害、そしてCOVID-19といった幾度となく経営を危ぶませる環境下で事業継続していくことは容易ではありません。だからといって簡単に雇用できないことも現実ではないでしょうか。そこで個人事業者が一般的な雇用で頼らずに事業を継続・拡大していくヒントを actual に現在進行形でチャレンジしている事例を生々しくお伝えします。



座長 宮井 浩志氏
KUGANE(株)
代表取締役 (西支部)



室長 河崎 浩氏
(株)KAWASAKI
建築設計 代表取締役
(西支部)

見学分科会

創業理念と現代経営の融合
経営再建の物語



庄野 道彦 氏
(株)ゼコー
代表取締役社長
福友愛支部

今回の見学分科会では、(株)ゼコーの庄野氏が巨額の負債から無借金経営に再建された経緯を学びます。庄野氏のリーダーシップと戦略を通じて、創業理念を現代経営にどう適用し、持続可能な経営戦略を築くかを探ります。(株)ゼコーの経営戦略の具体例を視察し、企業の歴史と変革の過程を共有します。実際の成功事例から具体的な教訓を得ることで、自社の成長に役立つ洞察を深めることができます。他社の成功事例を直接見て学び、自社の成長を追求するための絶好の機会です。経営再建の成功事例を通じて、「よい経営」を実現するための具体的な方策を考えましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



座長 二宮 輝昭氏
(株)estリンクステル
代表取締役 (博多支部)



室長 清澄 由美子氏
y-dian
代表者 (福友愛支部)

お客様から、地域から、
未来から求められるために
コツコツと、そしてちよっぴり背伸びして

いこいで経営

今回の自立型企業の取材は久留米市の(有)アサノ自動車を訪ねました。専務取締役の浅野明裕さんが明るく迎えてくださいました。

もともと明裕さんの伯父(父親の兄・現会長)が自動車の修理業に携わっており、父親(現・副会長)と共に起業させました。昭和45年のことです。
自動車の修理・钣金塗装、車検・整備、新車・中古車販売、保険など自動車に関する業務をワン・ストップで行っています。

明裕さんは昭和57年、久留米で生まれます。関東で大学の機械工学に進み、その後自動車関連企業に就職しました。3年ほど働いて25歳で久留米に戻ってきました。

明裕さんは、小学校1年の時からラダ

有限会社アサノ自動車 専務取締役
浅野 明裕 氏 (久留米支部)

奇をてらうことなく、足をしっかりと地につけて歩み続ける
(有)アサノ自動車。同友会での学びを活かしていきます。

取材/広報部
文章/菅原 弘(東支部)
写真/富谷正弘(玄海支部)



ピーを始め、28歳まで現役でプレーし、今では地域の子どもたちを指導しています。
同社は世代交代を図り、会長の次男・佑志さんが2代目社長、副会長の長男・明裕さんが専務、すなわちいとこ同士で経営しています。

同友会との出会い

入社して5年ほど経ったころ、売上げの半分以上を占めていたお客様から取引を中断されたことがあります。すぐに会社の存続にかかわるような案件ではありませんでしたが、経営を見つめ直す必要を感じていました。

その頃、知人から同友会の誘いを受けました。会長からも「外で勉強してこい」の一言で入会するのです。しかし初めは居場所がなく、なじめなかつたと言います。



会社外観

「初めて会社のことについてじっくりと考える時間が持てました」と振り返ります。そして次のような理念を策定しました。

【経営理念】
「求められるために」

【行動理念】
1. 「お客様の喜び」を追求し、お客様から求められる人財を目指します。
2. 企業活動を通して地域社会に貢献し、地域から求められる企業を目指します。
3. 未来へ繋がるために行動し、未来から求められる存在を目指します。

「求められるために」に日々行動することで、自分の未来を豊かなものにする。

同友会の学び

戦略として、取引先を分散させるようにしました。またディーラーからの仕事は下請けとなってしまうので、個人・法人との直接取引の比率を上げていきました。「これも同友会の学びです」。

データを構築してお客様のコンタクトを絶えないようにしています。

よき参謀として、この業界では珍しい100年企業になればいいなと考えています。

未来から求められるために

いま、自動車業界は大きな転換期にあります。カーボンニュートラルや自動運転などが挙げられます。

日本政府は2020年にカーボンニュートラル宣言をしました。2035年にガソリン車の新車販売が終了します（ハイブリッド車はガソリン車には含まれません）。そして2050年までにガソリン車利用の廃止を目指しています。「徐々に電気自動車や他のエネルギーにシフトしていくと思いますが、その他の構造は大きく変化がないののではないかと思います。钣金塗装（修理）の需要はまだあると見ています」。

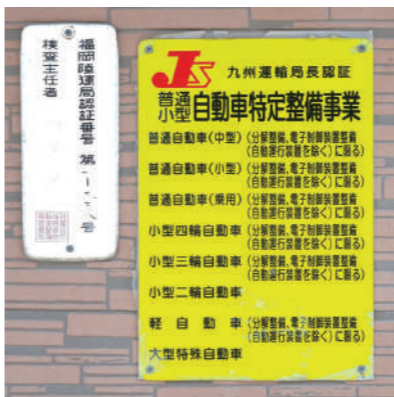
自動運転にしても、東京五輪の経済的な背景と目されましたが、法的（道路交通法など）環境整備が追いついていません。ただ、高速道路走行などでは事例も見られるようになってきました。自動ブレーキに関してはかなり普及しており、その結果事故が減り钣金塗装修理が減ってきています。

内製化の比率をさらに上げていくことにも尽力しています。その一例とし

「この地域で、この業種がインスタグラムやLINEの活用は珍しいと思います」と語ります。「車検を通すために整備をしなければならぬ」という言い方をされるお客様がいますが、本来自動車を安全に運行させるためには、通常からきちんと整備しているのが基本です。「車検のため」では、目的と手段が入れ替わっています。SNSを有効活用し、可視化して正しく情報発信したいと浅野さんは考えています。

No.2だから見えること

自分の意志で戻ってきたのですが、その時に「No.1（社長）にはなれないよ」と言われていました。それは了承していました。（そして社長には4人の息子さんがいます）。現在、会社の方針は社長と専務が話し合って決めていきます。「言うべきことははっきりと言います」と浅野さんは語ります。



普通小型自動車特定整備事業認証の看板

工場内においてはスタッフのスキルアップに余念がありません。「一から十まで教えてしまうと、覚えなくなりますので自分で考え作業させていきます。工場内であれば失敗しても取り返しがつくので、試行錯誤を経て技術も向上していきます。責任感も生まれてくるでしょう」。現場にいるNo.2だからこそ見えることもあります。こういった指導法はラグビーにも通じるものがあるかもしれません。

「ウチの特徴は、よくも悪くもスタッフが若いことです。ベテランからの技術継承が少ないです。車検の場合は整備士の資格が必要ですが、钣金塗装（修理）は資格や経験がなくてもおおよその作業ができます。しかし、本人のやる気を高めていくために資格取得も奨めています」。

また保険会社のアドバイザーで、昨年ベトナムへ行き面談して実習生として採用しました。

「よき参謀として、この業界では珍しい100年企業になればいいなと考えています」。



ハイブリッド整備士認定資格の証

現在、浅野さん自身が工場に入って作業や指導にあたることが多いので、若いスタッフを確実に育てて、いずれはプレーヤーからマネージャーにシフトを図りたいと考えています。「これも同友会での学びです」と締め括りました。

取材協力ありがとうございました。

また顧客管理のデータ化を進め深耕を図る考えです。

「コツコツと、そしてちよっぴり背伸びしてがんばりたいと思います」。

久留米支部の未来

浅野さんは次期支部長予定者です。「栗原朋宏支部長（株）ベストプランニング）が増強の仕組みづくりをしてくださっているの、私はそれを忠実に踏襲していきたいと思えます。また県とも連携し「知る会」を有効に開催して、まず増強に取り組んでいきたいです」と意気込みを語ります。

ワン・ストップでお客様に対応

取材の最後に浅野さんの考える自立型企業についてお伺いしました。「読んで字のごとく『自ら立つ』企業でしょうか。下請けにならず直接個人・法人のお客様とお付き合いできるようにすること。そのためにはとにかくお客様との

ファーストコンタクトを大切に接し、接触頻度を上げていきます。事故時の対応などは重要です。自分のモノを他人に預けることは少なからず不安が伴います。お客様の不安を少しでも軽減させ、ウチに安心して預けていただけるように努力を欠かしません。そして外注に頼る比率を下げ内製化に努めること。スタッフの多能工化を進め、ワン・ストップでの対応をし、お客様も安心していただけるよう様々なことにチャレンジしていきます」。



有限会社アサノ自動車

創業 1971年1月
住所 久留米市国分町1620-1
電話 0942-21-3220
従業員数 3名
事業概要 自動車に関することならなんでも！！ご相談下さい。

<http://asano-auto.jp>

(有)アサノ自動車

BCPアンケート結果報告

仕事づくり推進本部



仕事づくり推進本部長 山田 秀樹氏 (日本ビルケア㈱ 代表取締役 / 福友愛支部)

この度BCP策定状況を把握するためにアンケートを実施しました。BCPとは地震や水害などの天災だけでなく、伝染病、サイバー攻撃、倒産などの幅広い危機的事態を対象にして、それらの事態が発生しても事業をできるだけ短い期間で再開して事業が継続できるようにするための事前計画を言います。

南海トラフ地震などの巨大災害が予想される現在、我々中小企業においても実践的なBCP計画の策定が課題となっています。対応が不十分であれば、企業の存亡に直結するため、今回のアンケート結果を元に、経営者として地域防災や自社企業の明日を考える機会にして頂ければ幸いです。

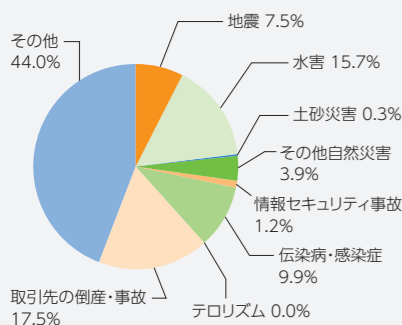


国際交流委員長
明永 稔氏 (東支部)
(㈱明永産業 代表取締役)

BCPを知っているか

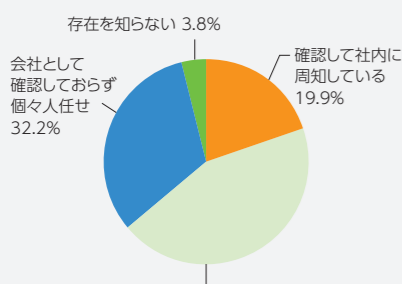
BCPを知っているかについて、全体の57.7%が「聞いたことがあり興味を持っている」、28.3%が「聞いたことがあるが意味はよく知らない」、14%が「聞いたことがない」と回答しました。

Q9 過去に受けた災害



※BCPアンケートの集計より抜粋

Q11 ハザードマップや避難経路の確認



※BCPアンケートの集計より抜粋

BCPの認知度は86%で、自然災害の多発が影響していると思われます。

BCP策定状況

社員数が少ない事業所ほどBCPの認知度が低く、社員数が51名以上の事業所では全て認知していました。またBCP策定について、全体の13.6%が「策定している」、32.5%が「策定中」、53.9%が「策定する予定はない」と答えました。社員数が多い事業所ほどBCP策定が進んでおり、逆に小規模な事業所ほど策定する予定がない割合が高いです。51名以上の事業所でも策定しない場合がある一方、社員数が少ない事業所でも策定している例があります。BCP策定の要因は、事業所ごとの事情に依存していると感じられます。

環境経営委員長
中島 一嘉氏 (久留米支部)
(㈱アズマ 代表取締役)

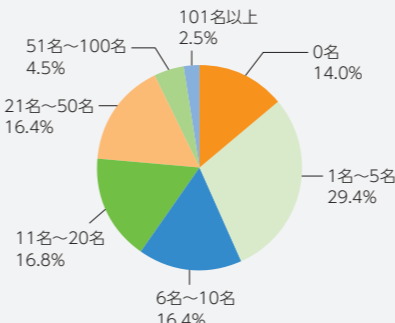


本社所在地

過去に受けた災害

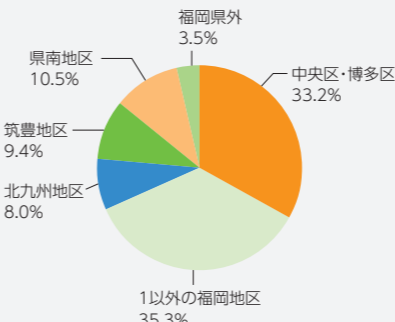
人口が多く経済活動が活発な福岡市や北九州市は経済に直結する災害が過去多く発生し、一方で自然豊かな地方は自然災害の発生が多かったと見受けられ

Q4 社員数



※BCPアンケートの集計より抜粋

Q5 本社所在地



※BCPアンケートの集計より抜粋

ます。それぞれの地域の特性を理解しBCP対策を行うことが重要だと感じました。しかし、近年みられるゲリラ豪雨や各地で発生している地震に対する備えは都市部でも必要で、情報の可視化↓意識を持つ↓行動変容へとつながるような活動が必要だと思っています。

社員数

ハザードマップ避難経路

社員数が多い会社と社員数が少ない会社のBCPに対する意識の差がはっきりと見えた結果だと思えます。社員数が少ない会社は万が一の対応が回りやすいのに危機意識が低いのかなと思いましたが、少人数だからできる共助を有効にする為にも社内周知と対策のミーティングを行うことが重要だと感じました。



企業連携推進委員長
船木 治氏 (中央支部)
サン・フカヤ(㈱) 代表取締役

社員数

BCP作成しない理由

Q4の社員数を見ると、アンケートへの回答をしていたいただいた企業は、51名以上の企業が7%、50名以下の企業が93%、Q15の「仕事が忙しくて社長の手が回らない」の回答では、51名以上の会社は0%、特に20名以下の企業で、96%を占めています。

それと、「必要性を感じない」の項目でも、50名以下の企業がBCP策定の必要性を感じていないことになりました。50名以下の企業ではBCP策定について、必要性を感じていないし、社長の手が回らないというのが実情だと思われま



ソーシャルビジネス委員長
桑原 由美子氏 (西支部)
NPO法人 発達障がい者就労支援 ゆあしつぷ 理事長

本社所在地

BCP対象リスク

BCP策定済又は策定中、策定予定のBCPで対象としているリスクは、全体で見ると地震が1位、水害が2位、情報セキュリティが3位になっています。地域別にみると、近年毎年のように豪雨災害が起こっている筑豊と県南は水害が1位になっています。福岡地区においては、西方沖地震の経験や警固断層のある地域ということもあり、地震が1位になっています。実際に自身の身に起こることに思っています。被害が最小限になるよう、地域と共に防災や減災の意識を上げ、連携していくことが必要だと思われま

Q5 本社所在地 × Q9 過去に受けた災害 ※集計結果のクロス分析より抜粋

	地震	構成比	水害	構成比	土砂災害	構成比	その他 自然災害	構成比	情報 セキュリティ 事故	構成比	伝染病・ 感染症	構成比	取引先 の倒産・ 事故	構成比	その他	構成比	総計
中央区・博多区	10	9.5%	11	10.5%		0.0%		0.0%	1	1.0%	13	12.4%	15	14.3%	55	52.4%	105
1以外の福岡地区	12	9.5%	19	15.1%	1	0.8%	7	5.6%	2	1.6%	10	7.9%	24	19.0%	51	40.5%	126
北九州地区		0.0%	3	12.5%		0.0%	1	4.2%		0.0%	2	8.3%	5	20.8%	13	54.2%	24
筑豊地区		0.0%	8	25.0%		0.0%	2	6.3%	1	3.1%	4	12.5%	6	18.8%	11	34.4%	32
県南地区	3	8.8%	10	29.4%		0.0%	3	8.8%		0.0%	3	8.8%	6	17.6%	9	26.5%	34
福岡県外		0.0%	1	9.1%		0.0%		0.0%		0.0%	1	9.1%	2	18.2%	7	63.6%	11
総計	25	7.5%	52	15.7%	1	0.3%	13	3.9%	4	1.2%	33	9.9%	58	17.5%	146	44.0%	332

① 福岡・北九州は取引先の倒産が最も高いが、筑豊・県南は水害を上げている。 ② 次席として福岡・北九州は水害を上げているが、筑豊・県南は取引先の倒産を上げて逆になっている。 ③ 相対的に地震を上げている地区は少なく、福岡・県南が3番・4番目に上がっている。 ④ 他の項目には地域性は余り見られない。

Q4 社員数 × Q15 策定しない理由 ※集計結果のクロス分析より抜粋

	仕事が忙しくて社長の手が回らない	構成比	策定の仕方がわからない	構成比	必要性を感じない	構成比	策定に必要な費用がもったいない	構成比	策定担当社員がいない	構成比	中小企業向けの見本がない	構成比	その他	構成比	総計
0名	12	32.4%	9	24.3%	9	24.3%		0.0%	3	8.1%	1	2.7%	3	8.1%	37
1名~5名	22	26.8%	17	20.7%	16	19.5%		0.0%	14	17.1%	9	11.0%	4	4.9%	82
6名~10名	7	21.2%	10	30.3%	5	15.2%	1	3.0%	7	21.2%	1	3.0%	2	6.1%	33
11名~20名	4	16.0%	9	36.0%	1	4.0%		0.0%	6	24.0%	2	8.0%	3	12.0%	25
21名~50名	2	8.7%	10	43.5%	7	30.4%		0.0%	2	8.7%	1	4.3%	1	4.3%	23
51名~100名		0.0%	2	33.3%		0.0%	1	16.7%	2	33.3%	1	16.7%		0.0%	6
101名以上		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	1	100.0%	1
総計	47	22.7%	57	27.5%	38	18.4%	2	1.0%	34	16.4%	15	7.2%	14	6.8%	207

社員数が少ないほど構成比が高い 策定は社員数に余り関りが無い 小規模ほど必要性を感じていない 相関性は余りない 相関性は余りない 相関性は余りない

第198回

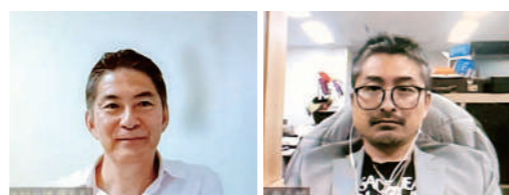
新会員フォローアップセミナー



第198回 (7月開催) 現地

7月25日(木)に開催されました。今回参加された新会員は25名でした。次回は9月28日(土) 14:00~開催です。ご参加お待ちしております。

新会員フォローアップセミナー 部会長 松井 竜介(南支部)

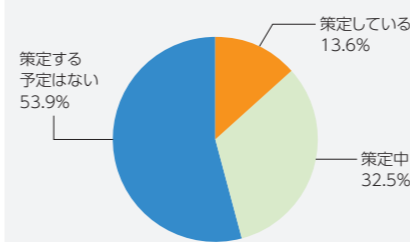


第198回 (7月開催) Zoom

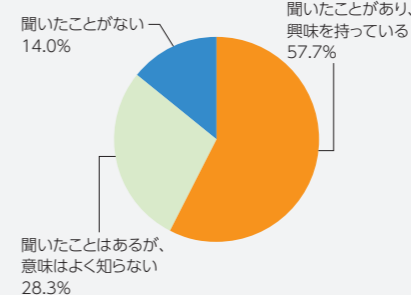
BCP対象リスク × 社員数

また社員数とBCP対象リスクについては、社員数に限らず地震と水害を選定されている企業が多いです。情報セキュリティ事故に関しては6~50名の企業の関心が低く、0~5名及び50名以上の企業で関心が高いです。逆に取引先の倒産に関しては6~50名の企業の関心が高くなります。

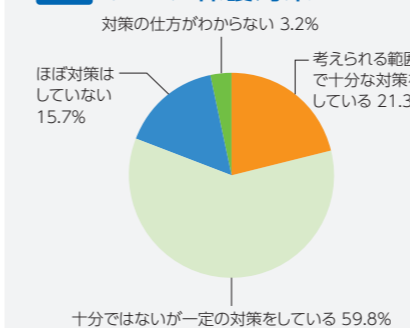
Q13 BCP計画策定について



Q12 BCPについて



Q10 データ保護対策



データ保護について、事業規模は関係なく何らかの対策が必要だと思われているのは素晴らしい事ですが、残りの概ね80%以上の会社が何らかの対策をしているのは素晴らしい事です。

データ保護対策 × 社員数



I T 部会長 橘信洋氏 (福友和支部) (株)スクラムソフトウェア 代表取締役

総括

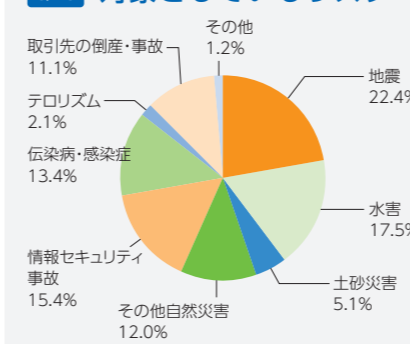
福岡大学経済学部 木下敏之 教授



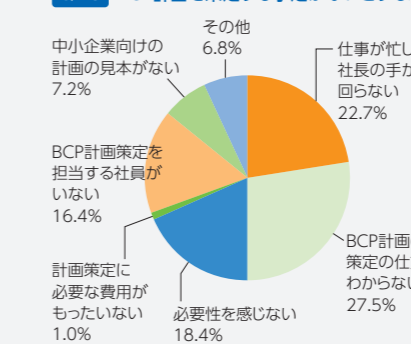
20%の会社が、ほぼ対策していない、対策の仕方がわからない、という状況でした。我々IT部会では、同友会会員企業の相談の場を設けています。是非、自社を更に発展させる活動を一緒に行っていきましょう。

「2011年以降、日本は災害多発の時代に入りました。32万人以上の死者発生が予測されている南海トラフ地震、2万人以上の死者発生が予測されている首都直下型地震、身近なところでは震度7以上が予測されている警固断層地震が発生する可能性があります。では実際に地元企業はどの程度それに対して備えているのか?これまで本格的な調査は行われていませんでしたので、今回の福岡県中小企業家同友会の行った調査は、全国に先駆けた非常に先駆的・画期的なものと言えます。」

Q18 対象としているリスク



Q15 BCP計画を策定する予定がないとする理由



事業継続計画(BCP計画)をよく知らない会社が4割以上、BCP計画を策定している会社が1割、策定された計画に巨大地震対応策を盛り込んだ計画は3割程度と課題が浮き彫りとなりました。小規模な会社ほど取り組みが不十分でしたので、今後は小規模な会社を取り組める現実的な事業継続計画を考える必要があります。今後の同友会の取り組みを大いに期待しています。

3 火 10:00~12:00 バリアフリー委員会

- 企業見学会
- 富士食品株式会社 糸島市多久819-12 ☎ 092-324-5577
 - 井上 明氏 富士食品株式会社 代表取締役社長 (東支部)

6 金 18:30~21:00 女性部委員会 9月例会

- 生涯顧客と持続可能なまちづくりで事業繁栄
- 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎ 092-715-3250
 - 鈴木 千鶴氏 有限会社鈴木モーターズ 代表取締役社長 (京都同友会)

10 火 18:00~20:30 福博支部 9月例会

- 自社の働き方、時代遅れになってませんか?
ひとり1人が輝く組織が社会を変えていく
- 天神チクモクビル 大ホール 福岡市中央区天神3-10-27 ☎ 092-715-3250
 - 麻生 有花氏 スタイルクリエイティブ株式会社 代表取締役 (福友愛支部)

13 金 18:30~21:00 のおがた支部・ひびき支部 9月合同例会

- 一隅を照らす社会へ ダイバーシティ社会に向けて
- コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎ 093-641-9360 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
 - 中村 こずえ氏 有限会社エス・ケイ・フーズ 取締役 (長崎同友会)

(飯塚支部) ひびき・のおがた支部例会に訪問

13 金 18:30~21:00 知る会研修会 (増強研修会)

- 知る会研修会
- WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
 - 古川 淳一氏 有限会社ニコシー・ネット 代表取締役 (博多支部)
 - 高尾 英正氏 株式会社ライズ 代表取締役 (福友和支部)

第29期役員研修大学【1泊2日宿泊研修】

ひろく、ふかく、同友会理念を学び実践へ!!
中小企業経営者として、同友会運動の役員として、
地域から信頼される経営者として

14 土 13:00~15 日 12:00

- まなびのやど福岡(福岡自治研修センター) 大野城市大字乙金8-1 ☎ 092-504-9151
- 国吉 昌晴氏 中小企業家同友会全国協議会 顧問
- 井上 明氏 富士食品株式会社 代表取締役社長 (東支部)
- 貞兼 朋記氏 株式会社ルックルック 代表取締役 (南支部)

※参加費:12,000円

17 火 18:30~21:00 博多支部 9月例会

- 人を生かしてない経営からの脱却
~〇〇つもりになっていませんか?~
- 天神ビル11階11号室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎ 0120-323-920
 - 山内 年博氏 やまうち工務店株式会社 代表取締役 (博多支部)

17 火 18:20~20:50 福友和支部 9月例会

- 働きがいのある職場の秘訣
~主体性を育むルックルックらしさとは?~
- アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎ 092-263-4770 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
 - 貞兼 朋記氏 株式会社ルックルック 代表取締役 (南支部)

17 火 18:30~21:00 北九州支部 9月例会

- 北九州支部納涼例会
- 思恩 真空管 北九州市小倉北区魚町1-4-15 山崎ビル ☎ 093-513-7770

17 火 18:30~20:30 りょうちく支部 9月例会

- インフレ時代の戦い方②
「労働問題の新潮流 インフレ下での若者雇用」
~生産性向上を目指す小規模事業者の雇用戦略~
- るり色ふるさと館 うきは市吉井町983-1 ☎ 0943-75-3343 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
 - 北原 正氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員 (南支部)

17 火 19:00~21:00 大牟田支部 9月例会

- 経営指針書を創ってみませんか? 活躍(つか)ってみませんか?
- グランドホテル清風荘 大牟田市原山町2-4 ☎ 0944-56-1212
 - 金川 俊一氏 株式会社ビッグロード 代表取締役 (東支部)

18 水 18:00~21:00 東支部 9月例会

- 同友会活動を通じて企業規模を拡大していくためには
- 福岡県中小企業振興センター 401会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-3F ☎ 092-622-0011
 - 川本 伸二郎氏 株式会社ラ・ブリヤント 取締役 (福友愛支部)

18 水 18:30~20:40 西支部 9月例会

- 未来を創るDX
生成AI活用術 ~ChatGPTで始めるデジタル変革~
- アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎ 092-263-4770
 - 坂根 一馬氏 株式会社Task Brain 代表取締役 (西支部)

18 水 18:30~20:55 糸島支部 9月例会

- 自立型農業経営への転換
- グローバルホテル糸島 糸島市泊844-1 ☎ 092-332-9600
 - 浦田 康明氏 有限会社ウラタ農園 取締役 (糸島支部)

18 水 18:30~21:00 田川支部 9月例会

- 中小企業憲章から学ぶ地域づくり
本当の自社発展とは?
- 福岡県立大学 中セミナー室 田川市伊田4395 ☎ 0947-42-2118
 - 平塚 幸雄氏 田川市役所建設経済部産業振興課 課長補佐
 - 荒川 雅光氏 有限会社英設備工業 代表取締役 (田川支部)

19 木 18:30~20:50 中央支部 9月例会

- 心ある取り組みが企業を強くする 国編
~心ある黒字企業を目指して~
- 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎ 092-715-3250 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
 - 荒巻 健志氏 株式会社Soil 代表取締役 (中央支部)

19 木 18:20~20:40 筑紫支部 9月例会

- 未定(黒字経営)
- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎ 092-918-3535
 - 栗山 浩氏 株式会社アーキテックス 代表取締役 (南支部)

20 金 18:30~20:30 企業連携推進委員会 FAST9月例会

- 商品づくり・ビジネスづくり報告
- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎ 092-686-1234
 - 深見 信吾氏 深見経営株式会社 代表取締役 (東支部)
 - 村田 龍二氏 福豊興産コンサルティング株式会社 取締役 (のおがた支部)
 - 三木 裕佳氏 REGOLITH株式会社 代表取締役 (博多支部)

21 土 18:30~21:00 玄海支部 9月例会

- 小さい事を大切にしたい
やってみよう! 同友会活動!!
- アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎ 092-263-4770
 - 片桐 孝章氏 有限会社片桐計量器店 代表取締役 (長崎同友会)
 - 原田 良太氏 社会福祉法人 宮共生会 理事長 (長崎同友会)

2024年度 第3回 理事会だより

開催日時 2024年7月24日(水) 14時30分~17時35分

会場 八幡西生涯学習総合センター 大会議室

出席数 36名(出席率90%) 議長 山田 秀樹(理事)

- 会員増強
入会21名、休会復帰1名、退会17名(うち未収による強制退会1名)、休会1名が承認された。また1名の移籍が確認された。7月承認会員数2,329名。
- 第62回定時総会決算報告
決算報告が行われ、当初より会場費があがったため赤字となったことが報告された。
- 経営指針の成文化率と実践率の声掛け状況
声掛け率21%。実践率は40%。
- 地域づくり推進本部より
現在の景況調査票から「経営実態調査」に名称・内容を変更する。実施回数は現在同様4半期に1度の年4回とし、調査期間は従来の6月・9月・12月・3月の原則「月初から月末まで」へ変更することが承認された。6・12月は簡易版、9・3月はフルバージョンの設定を設けて調査を行う。
- 総務財政室より
① 役員選考規程の改定について
(1) 第21条1項「本規定第4条第1項の」→「本規定第3条第1項の」
(2) 第34条1項「支部長候補者および副支部長候補者の」→「支部長および副支部長の」(3) 第35条5項は第3章に記載があるため削除。
② 災害時対応表について
同友会活動における災害時の対応を組織ごとにまとめた。デザインや周知方法は今後検討していくが、各組織で確認し、意見があれば事務局を通して総務財政室に連絡することが確認された。
- 第30回フォーラム参加費について
参加費として、分科会・基調講演のみの参加は1,000円、懇親会までの参加は11,000円が承認された。
- 中同協青年経営者全国交流会in広島 参加費返金について
昨年開催された青全交の参加費について、大幅に剰余金が出たため、1人あたり2,000円を返金すること。返金方法は支部長から参加者へお渡しすることが承認された。
- 会員企業の動き
<経営革新計画承認企業>
● 2024年5月(県43件/うち同友会会員企業1件)
※累計で福岡県全体で9,703件、会員企業は延べ563件。
● 2024年6月(県132件/うち同友会会員企業7件)
※累計で福岡県全体では9,822件、会員企業は延べ570件。

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。



会員 Pick up!

博多支部設立50周年記念祝賀会

文／不動産の窓口株式会社 代表取締役 豊島 圭 (博多支部)



博多支部設立50周年記念事業実行委員



実行委員長を務めた第19代支部長の古川淳一さん



歴代支部長からのメッセージ



宮地支部長と会員増強に寄与された皆さん



会歴30年以上の方々



締めは博多手一本

令和6年6月18日、博多支部会員、正副代表理事、県地区役員、博多支部OBなど総勢135名の皆様にご参加いただき、博多支部設立50周年記念祝賀会が開催されました。

45年に渡り博多支部で活動されて来られた小松公範さん(第4代・18代支部長)の記念講演や、歴代支部長の挨拶、会歴・増強表彰、新入会員の紹介などが企画され、会歴や年齢などを問わず、温かいお祝いの時間を過ごすことができました。

設立50周年記念事業実行委員の古川淳一さんをはじめ、ご尽力いただきました皆様、ありがとうございました。

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

テーマ 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

送付先 郵送/下記「月刊同友」編集部まで
メール / a_arima@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 有馬まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

[北九州地区センター]

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

[県南地区センター]

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



[デザインQR]

今月の「月刊同友」はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からの意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 9月30日(月)

環境を守るため森林認証紙を使用しています。